



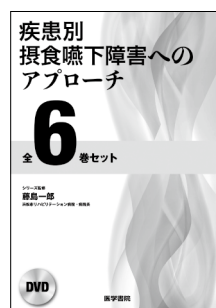
書
評

疾患別摂食嚥下障害への アプローチ DVD 全6巻セット

シリーズ監修：藤島一郎

2020年12月 定価：198,000円 [本体180,000円+税]
[ISBN] 医学書院刊

<評者> 山脇正永 (東京医科歯科大教授・臨床医学教育開発学)



本DVDを視聴して、摂食嚥下障害治療の第一人者であるそれぞれの編者の話を、本人の目の前で聞いているような感覚を持った。全編が実践の動画を含む講義形式でコンパクトにまとめられており、日常の摂食嚥下障害で直面する疾患・症候についての基本的事項から、治療・リハビリテーション・対処法まで、内容がストーリー性をもってまとめられている。摂食嚥下障害は原因疾患や障害部位によってパターンが異なり、その対応については病態のメカニズムや個人の摂食嚥下障害の特徴の理解が重要となってくる。本DVDでは疾患の病態から嚥下障害のメカニズムについて特にわかりやすく図表を使って解説されており、その鑑別のヒントや臨床上のTipsも多く示されている。

本DVDの内容は、摂食嚥下障害の頻度として最も高い脳血管障害については球麻痺と偽性球麻痺に分けて詳説されており、またパーキンソン病をはじめとする神経難病やサルコペニアについての最新の内容も盛り込まれている。さらに、小児疾患による嚥下障害、頭頸部手術後の嚥下障害など、普段はあまり指導されることのない(日常臨床ではしばしば経験されるが、その内容を指導してくれるエキスパートがいない)分野もカバーしている。

ビデオ教材の利点として、難解な部分や嚥下造影検査結果などを繰り返しあるいはスローで再生でき、理解が深まることがある。本DVDには、時間をかけて咀嚼すべき内容や図表を見ながらじっくり理解する内容、繰り返し診るべき検査所見や手技が盛り込まれており、ビデオの再生以上の時間をかけてじっくりと見るべきものとなっている。また、本DVDの特徴として、嚥下造影などの検査所見だけでなく、摂食嚥下障害への治療・リハビリテーション手技が動画としてわかりやすく編集されている点がある。手技を習得するに当たって重要な点は、正しい手技を見ること、実際の手技場面を見ることの2点があるが、本DVDではこの2つが同時に満たされており、この意味でもぜひたくなつくりとなっている。画像的にも、本DVDの画はクリアであり、誤嚥の瞬間などもわかりやすく示されている。各施設での摂食嚥下障害の実臨床に明日から応用できるようになっている。

本DVDは基礎的事項からわかりやすくまとめられており、医療者の教育教材としても有用である。内容的に卒前教育から卒後教育、認定医療者教育にも十分に活用できる。摂食嚥下障害の基礎～応用までの教科書として、各病院だけでなく医療系大学などの教育機関でも常備しておきたい教材である。